

## 適正な配分と所得低下の復元を

### 第12回地方委員会「2011春闘方針」「各種選挙の取り組み」など決定!

JAM山陰は「第12回地方委員会」を、鳥取県三朝温泉の依山楼岩崎にて開催し、役員・地方委員ら82名が出席した。多久和英紀執行委員長は「大企業を中心に業績回復が見られており、賃上げや一時金へ適正な配分を求めて行かなければならない」と2011春闘の情勢に触れ、個人消費を喚起する取り組みにしたいと呼びかけた。今春の統一地方選には「われわれの暮らしに政治の果たすべき役割は大きく、推薦候補全員の当選を実現し、社会政策の推進を図ろう」と訴えた。



▲多久和委員長の代表あいさつ

JAM本部の斉藤常書記長からは「デフレからの脱却が急務。今春闘が賃上げの最後のチャンスとの意見もある。労働条件の復元へも着手すべく労使協議を」と説明。



▲斉藤書記長から  
春闘情勢の説明

### 第22回参院選「限られた人たちの活動から脱皮出来なかった」と総括

地方委員会では、賃金構造維持分確保と改善分・是正分を含む要求を柱とした2011春闘方針を決定(別掲)。また、昨夏の参議院選挙の総括では「すべての単組のすべての組合員の参加」が基本で取り組まれたが、「限られた単組の限られた人々(役員)の活動」から十分に脱皮出来なかったことが最大の反省点と指摘。最大目標である『津田やたろう再選』を民主党内8位の順位で勝利できたことは評価できる結果であると総括した。やたろう議員は現在、参議院厚生労働委員長に就任しており、今後も「JAMの議席」を継続させることも確認した。

### 統一地方選予定候補から熱い決意表明

#### 【鳥取県】



▲左から坂野経三郎(鳥取)、伊藤保(東伯)、池田博子(米子)

※尚、現職である興治県議、福岡県議、森岡県議は、新年度予算審議のため欠席

#### 【島根県】



▲左から石原真一(八束)、足立昭二(雲南・飯石)、珍部芳裕(出雲) 石橋富士雄(安来) ※欠席の方はメッセージあり

次に、今年の統一地方選挙で鳥取・島根両県議会予定候補の14名の推薦を再確認。この内7名が会場に駆け付け推薦のお礼と決意表明を述べた。また、8月には東出雲町の合併に伴う松江市議会議員増員選挙が予定されており、特にこの選挙区は、組織内・準組織内議員がいることから、JAM山陰として議席を死守する重要な取り組みであり、統一地方選と松江市議会議員増員選挙の必勝に向けた決議を満場一致で採択した。

県議予定候補を代表して、地元東伯郡選挙区から出馬予定の伊藤保県議に多久和委員長から、為書と推薦状が手渡された。

このほか、第13回定期大会の開催日時と場所が承認された。また、今年度は任期満了による役員改選の大会となることから、役員選考委員会の設置を確認。具体的な役員体制の検討が実施される。最後は、多久和委員長の春闘と統一地方選の勝利、JAM山陰の躍進を祈念したガンバロー三唱で締めくくられた。

## 2011 春季生活闘争方針 (抜粋) 労働条件の復元とデフレ脱却に結集を!

#### 個別賃金要求

標準労働者要求基準またはJAM一人前ミニマム基準、JAM山陰一人前ミニマム基準への到達を基本として、個別賃金絶対額水準を重視した賃金の底上げをはかる。

#### 賃金水準の維持

賃金制度のあるところは賃金構造維持分を確保する。賃金制度はないが、賃金実態の把握に基づいて推計できる場合は、その相当分を要求し確保する。賃金制度がなく、賃金構造維持分の推計も出来ない場合は、**4,500円以上**平均賃上げ要求を行う。

#### 賃金の改善・是正について

ここ数年間に、賃金構造維持分を確保出来なかった単組及び賃金制度がなく妥結額が4,500円未満の単組では、その実態を労使確認し、賃金水準の回復を目指し、**5年以内を目安とする中期の是正目標を定め、初年度の取り組みとして1,500円以上の水準引き上げ**を目指す要求を組み立てる。また、賃金構造維持分を確保してきた単組でも、人材確保、初任給の引き上げ、賃金分布の偏り・歪み等に対し、企業状況や必要に応じて、賃金改善・是正の要求を組み立てる。複数年を掛けて是正に取り組むところでは、標準労働者要求基準、JAM一人前ミニマム基準を活用し、人材確保や格差是正の観点から水準の引き上げや賃金カーブの整備に向けた取り組みを行なう。

#### 一時金要求

年間5ヶ月基準または半期2.5ヶ月基準の要求とする。また、最低到達基準として、年間4ヶ月または半期2ヶ月とする。

#### 日程について

1. 統一要求日 **2月22日(火)**
2. 統一回答指定日 **3月15日(火)、3月16日(水)**

## JAM山陰政治連盟「第11回総会」 地域政策の実現へ組織内議員の拡大を



▲座長の小椋副代表

JAM山陰政治連盟の第11回総会が開催された。政治連盟は、「組合員一人ひとりが政治活動や政策学習に主体的・積極的に参加する場を提供し、政治意識の高揚を図るとともにJAMの目指す社会の実現」を目的に設立された。

川野政治連盟事務局長からは、本年度も昨年に引き続き、各構成組合の組織人員の5%とする目標に会員拡大をめざして活動を展開する方針を決定した。このほか、JAMの政策制度活動への支援、議員ネットワークの強化・支援、広報活動の強化なども確認された。

また、組織内議員の選挙となる松江市議会議員増員選挙もあり、会員拡大への理解と積極的な取り組みを要請し、全力で支援する必要性を訴えた。

## 2011年度「共済研修会」 ちょっと保障見直して可処分所得を増やそう



▲福本書記長から  
給付条件の質問

2011年度の共済研修会が開催され、構成単組の執行部や実務担当者ら約120名が参加した。講師としてJAM共済グループから田中久弥グループ長を招き「JAM共済の加入・給付状況」について説明を受けた。特に年末年始に山陰地方で降った大雪による被害で、問い合わせの多かった「バルコニー・カーポート等」の給付に於ける考え方の説明があった。

続いて、JAM山陰の川野書記長から今年度のJAM山陰共済推進計画について説明。具体的な取り組みとして2月26日・27日に山陰両県で開催する2011年度共済研修会で「ファイナンシャルプランナーによる保障診断を受けて、ちょっと保障内容を見直すだけで、可処分所得をぐっと増やす事が出来る」と呼びかけた。また、神鋼機器工業労組の福本和幸書記長より、病气入院時のハート団体共済給付条件が7日以上入院から1日目より給付されるというものであり、入院期間が短縮される傾向である事から、1日目からの給付にして欲しいとの要望の声があった。それについて共済グループの田中グループ長より「他にも同じ声を受けていて、現在理事会にて短縮方向で検討中であり制度改善に繋がれば良い」との回答があった。



▲田中G長の説明



## 2011年度「新春旗びらき」 春闘・統一地方選勝利に向けて

JAM山陰の「新春旗びらき」が開催され約150名が参加。多久和執行委員長は「景気の先行き不透明な中で、雇用と生活を守るため、春闘や統一地方選挙など全力で取り組まなければならない。今年がみなさんにとって良い年になるよう一緒に頑張ろう」とあいさつ。

来賓として、五十嵐連合鳥取会長をはじめ、労働福祉団体と昨年発足したシニアクラブ役員が臨席。華々しくJAM山陰の年始行事が行われた。また、今年がJAM共済10周年と自家共済55周年の節目となり、昨年の共済推進に貢献した単組の表彰式が行われ、単組代表者に表彰状と記念品が授与された。最後に堀内委員長代行の「春闘勝利と各種選挙の完全勝利、各組織発展と参加者の健勝祈念」の一本締めで、宴を終えた。



▲安田理事長の乾杯でスタート



▲初めての三朝温泉での開催に約150名のみなさんが参加



▲共済表彰式で貢献単組を披露

も作成した。参加全員が悪戦苦闘しながらのアドバイスを受けた。講師からのアドバイスを題材で広報紙作りに挑戦。講習が行われ、用意された題材を引き続き、広報紙作成の実習が受けられた。広報紙作成の実際がわかる。用意された題材を引き続き、広報紙作成の実習が受けられた。広報紙作成の実際がわかる。用意された題材を引き続き、広報紙作成の実習が受けられた。...

引き続き、広報紙作成の実習が行われ、用意された題材で広報紙作りに挑戦。講師からのアドバイスを受けた。講師からのアドバイスを題材で広報紙作りに挑戦。講習が行われ、用意された題材を引き続き、広報紙作成の実習が受けられた。...



▲縦書きレイアウトは難しい...



▲林次長は「見出しで決まる」と説明

見出しで読者をひきつけよう  
2011広報セミナーを開催「広報活動の充実を」

出来あがった作品は、見出しの付け方やレイアウトなど林次長から講評を受けた。セミナー参加者の感想として「大変満足。知識が無く作成していたが、組合員に伝える広報の作り方を心掛けた」という声や、「今までのやり方が間違っていた。ちゃんとした情報発信をしていきたい」など今後の取り組みに反映したいとする声や、「もっと多くの方に参加して欲しい。大変参考になった」「実作業に役に立つセミナーだった。次回も参加したい」といった継続的な開催を要望する声もあった。参加者アンケートを踏まえ、次回開催内容も検討したい。

## 多くの人が参加したい行事を 2011.1.30 青年協「第2回幹事会」

JAM山陰青年協議会は、第2回幹事会を東出雲町の三菱農機労働会館で開催。降雪のため開催が危ぶまれたが、役員11名が出席し、今年の活動について協議した。前回の幹事会では、年間活動目標として、楽しい企画内容とする、普段出来ない企画とする、女性が参加しやすく参加者を増やす、として、充実した青年協活動を企画・運営していくことが確認されている。今幹事会では、スプリングセ



ミナーは研修もしくは座学、サマーキャンプはレク活動を行うこと。内容は、誰もが関心があり多くの人が参加したいと思う行事を企画することを確認。次回の幹事会では、具体的な内容を検討していく。

## 全国女性活動担当者会議に参加して

## With山陰設立準備委員会のこれからの役割

With山陰設立準備委員会事務局 鳥目 純子

Withの「全国女性活動担当者会議」が四国香川県で開催され出席してきた。2日間の日程で会社訪問並びに工場見学や働く女性の環境と課題の講演が行われた。会社訪問の意見交換会では「看護休暇の運用は？」等の質問や「女性が活躍できる場を設けてほしい」と言った活発な意見がどんどん出されていた。自分の感じたこと、思いや要望はすぐに声に出して伝えていく。そうした積極性が必要であると感じた。また、講演で「女性の働きやすい職場環境は、従業員全体にとって働きやすい環境。その効果が企業利益に反映されているデータもある」とのうれしい報告もされた。



「With山陰設立準備委員会」は、第12回定期大会にて設置された。With山陰の早急な設立をめざして準備を進めなければならない。しかし、JAM山陰における女性比率は約19%しかない。(全国的には高い方だと言うけれど)



▲綾タダノ志度工場の見学後に参加者38名が記念撮影

ましてや、女性の執行部役員は希少な存在であり、女性の声をカタチにするのはなかなか困難な状況が続いていると聞いた。私は、Withの活動を女性組合員や各単組の執行部の方々に、知って頂く役目を担うこととなった。「どうせ変わらないから」とか「どうやって変えていっていかかわからない」などの女性の

声をカタチにするため、中央や他の地方Withと連携をとり、少しずつでも前に進める事をめざしていきたい。女性組合員が勇気や元気を実感してもらえる「With山陰」の早期設立に向けて、With山陰準備委員事務局として準備委員と一丸になって頑張る取り組みで参ります。みなさまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

## 会員の拡大に向けて 2011.1.28 シニアクラブ「第1回幹事会」

JAM山陰シニアクラブの「第1回幹事会」が三朝温泉の依山楼岩崎で開催され役員8名が出席した。内田敬会長は「初めてとなる幹事会を開催し、具体的な取り組みについて協議していかなければならない。会員の拡大や会費設定などの課題がある。本部はシニアクラブ結成10周年を迎えて会員1万人をめざしている。山陰もその一翼を担わなければならない」とあいさつ。幹事会では、昨年行われたJAMシニアクラブ2011年度事務局会議の報告を受けた後、今後の活動や課題について協議され、当面の取り組みとして、単組の退職者組織に関する実態調査、シニア共済への加入状況などを把握し、会員拡大に向けた要請を行うこと、本部シニアクラブとの連携、連合高退連との関係などについて協議された。



▲内田会長から今後の課題について説明



## 2011春闘「賃金水準の回復と偏りの是正」へ全力投球!

統一要求日:2月22日(火) 回答指定日:3月15日(火)、3月16日(水)